

くつろぎ タイム

仙台商工会議所 2号議員
仙台商工会議所 工業部会 部会長
株式会社橋本店(青葉区立町)
代表取締役社長

さ さ き ひろあき
佐々木 宏明 氏

昭和28年1月9日生まれ。
宮城県出身。血液型O型。

クラシック音楽に耳を傾け 時には京都のお寺を訪ねることが 気分転換になります。

10年ほど前に大病をしまして、入院生活を余儀なくされたことがあったのですが、それがボタニカルアートを始めるきっかけになりました。当時は常務であり、営業本部長も務めていましたので、休みがほとんどなかったんですね。病院の先生に「このまま仕事、仕事の毎日では心身共に参ってしまいますよ。何か芸術的なことに触れたい、クラシックを聴いたり、仕事とは全く関係のないことをやってみなさい」とアドバイスを受けました。これを機会に自分の生き方をリセットしようと、最初に始めたのがボタニカルアートだったのです。

ちようど弊社のビルの2階でボタニカルアートの教室が開かれていましたので、月に2回ずつ通いました。ボタニカルアートというのは、植物の姿を正確に、緻密に描くものなのですが、続けているうちに見慣れた草花の中に新たな魅力が見つかり、草花の命の美しさにも引きつけられ、時を忘れて夢中になれるのでリフレッシュになります。この教室が第1・第3土曜日の午前

ボタニカルアート(植物画)が
ご趣味と伺いましたが

昭和50年(株)橋本店入社以来、営業畑一筋に歩み、平成20年代表取締役社長に就任した。佐々木氏の好きな言葉は「得意淡然・失意泰然」。

「何をやってもうまくいく時には、驕らず、慎ましい態度で物事に当たるべきである。一方、上手くいかなくなっても、焦らず、落ち着いて良い方向に動き出す時期を待つべき。うまくいかない時期を乗り切った者だけが成功する。スランプは生かさなければならぬという私の考えにぴったりと合う言葉です」と話す。

10時から始まるものですから、最近はずっと時間を合わせるのがむずかしくなり、少しお休みしているところなんです。仕事をリタイアして時間が出来たら、再開しようと思っています。今のくつろぎタイムといえば、クラシック音楽を聴いている時でしょうか。

クラシック音楽の鑑賞も始められたのですか

そうですね。これも病気をしたのがきっかけです。実は私が社長に就任して以来、会社の創立記念日やクリスマスの際に、社員全員でクラシックを鑑賞する機会を設けるようになりました。昨年は弊社の創立135周年記念のコンサートとして、仙台国際センターで大々的に行ったんですよ。毎年の創立記念日は、橋本家の菩提寺である孝勝寺の本堂でクラシックコンサートを開いています。歴代の社長の供養と、昔は人力作業で、工事の現場で命を落とされた方々の慰霊碑を孝勝寺にお引き受けいただいているものから、ご供養のお経を上げていただいているから、クラシックコンサートをしています。

企業内の行事として、クラシックコンサートを開くというのは珍しいですよね

普段、仕事をしていては得られない刺激を受けること、使わない脳を刺激することも大切ではないかと思ひ、続けています。

健康法をお聞かせください

週に1回、スポーツクラブのプールで、

1000メートルくらい泳いでいます。根が怠け者なものですから、コーチが付いてくれるコースに入っているんですよ。「こーやりなさい」と言われないと、一人で1000メートルはなかなか泳げません(笑)。

旅行が好きと伺いましたが

病気になる前までは、外国旅行にもずいぶん行きましたが、今はもっぱら国内、それも京都に仏像を見に行くことが多くなりました。昨年は仕事の関係もあり、4回行くことができました。一人で訪れることもあれば、家内と一緒に行くこともあります。特に、広隆寺の弥勒菩薩像が好きなんです。その美しくて優しいお顔を見ていると、普段の生活から離れて、静かな気持ちになります。

それから旅の良さというのは、自分の生活圏から遠く離れることで、いろいろなことが客観的に見つめ直せるところにあるようです。会社の中にはわからないことに気づかされるのが、意外に多いものです。

当所工業部会長就任の抱負をお聞かせください

これまでは頼もしい部会長の下、副部長として参加しておりました。私にとっ、建設業以外の団体の長を仰せつかったのは初めての経験です。多くの企業が集まっている部会ですので、内部のコミュニケーションをどうすれば活性化できるのか、皆さんのお話を聞きながらその方法を模索していきたいと思っています。

昨年12月に米沢で開かれた第5回三都市(仙台・米沢・会津若松)商工会議所工業部会交流会に参加しましたが、各地の皆さんが本気になって工業振興に向けた取り組みを行っていることを強く感じました。宮城・仙台も工業部会が中心になって、地場産業の振興に尽力し、互いの仕事につながるような情報交換ができる組織になればと思っています。



昨年開催した135周年コンサート。コンサート終了後にはバイオリン奏者の松山冴花さんとピアノ奏者の津田裕也さんを囲み、職員で記念撮影も実施(2列目右から4人目が佐々木社長)。

森

『森』は生きています。人間と共に。

二酸化炭素を酸素に。人間にとって欠かせない酸素を、人間が吐き出した二酸化炭素から作り出す植物たち。この自然のサイクルを、一本の木を、そして森全体を、見守っていかなくては……。そう私たちは考えています。私たちは青葉環境保全です。

——より良い環境をめざす——
AOBA 青葉環境保全
本社/仙台市若林区蒲町19-1 電話(022)286-3161(代)